

なきごえ



1984

11

大阪市
天王寺動物園協会

動物と私



鳥羽山照夫

私と動物とのかかわりあい、イルカとのめぐりあいから始まったといっても言い過ぎではないでしょう。海も山も川もある恵まれた自然に取り巻かれて育った幼き時代には、

人並みに昆虫採集や魚釣りなどに興味をもち、田んぼや野山を泥まみれで駆けまわったり、水しぶきをあげてはしゃぎまわったりしたこともありました。しかし、それも友達がやっているから自分も、という人まね程度のことであったために中途半端に全てが終ってしまったのです。どちらかといえば動物への関心よりもスポーツへの関心のほうが高かったようで、動物にはほとんど無関心であったような気がします。

ところが、高校時代に化学よりも生物の成績が良かったという単なる理由から水産分野に進学し、水の動物についての知識を学ぶことになりました。そして、卒業するまでに多くの知識を得ることができましたが、まだ、真から動物に興味や関心をもてたわけではなく、卒業した以上は水産畑で仕事をするしかないというまことに頼りない状態で社会に出たのです。このように、元来動物に興味をもてなかった私でしたが、水族館でイルカとふれあい、付き合いはじめたのが、大転機となり、イルカのもつ頭の良さや未知の分野を残している生活様式に興味をもちはじめたのがきっかけで、イルカの魅力に引き込まれていったのです。そして、しだいにイルカにつ

なきごえ11月号もくじ

動物と私	2
“日本へ初お目見え、ヨロシクネ！”	3
動物園グラフ・動物園日記	4・5
天王寺の歴史をさぐる	6・7
かわいい小悪魔“タスマニアデビル”とは	8・9・10
動物園ニュース	11

いての知識が蓄積され、それがイルカに対しての自信と愛情に結びつき、今では、イルカは私の人生にとって切っても切れないくらい大きな存在となってしまったのです。

水族館の仕事についてから25年、実にさまざまな水の動物達とめぐりあい付き合ってきましたが、新しい知識や初めての体験をさせてくれた数多くの記憶に残る動物達の中で、イルカ達ほど今までの私の人生に大きな影響を与えてくれた動物は類をみないでしょう。海や野生動物についての多くの知識を教えてくれたのみならず、世界の人々とのコミュニケーションの場もつくってくれ、その上、生きがいである動物に興味をもち愛することさえも教えてくれたのです。

このような自分の経験から考えてみると、動物を愛し付き合っていくには、「動物好き」「動物嫌い」という理由だけで動物との付き合いが「できる」「できない」を決めてしまうのは早計のように思われてなりません。誰でも機会さえあれば、自分とふれあうことのできる動物にめぐりあうこともでき、そして、その動物を通して他の動物を愛し、その心が自然愛をはぐくんでくれるようになるのではないのでしょうか。しかし、動物とふれあい付き合っていくために最も気を付けなければならないことは、文章や絵などの知識を先行させるのではなく、まず動物と接しその動物の気持を理解する努力をすることだと思います。大変難しいことかも知れませんが、人間の考えを優先させて動物を理解しようとするだけでは避けなければなりません。動物との付き合いにおいては、動物の気持を感じその気持にあわせてやるような滅私奉公の精神を忘れないように、常に心掛けていくことが最も大切なことではないでしょうか。 (鴨川シーワールド水族館長)

表紙の写真説明

“ライオン”
百獣の王にふさわしく、長いたてがみをもったオスは大変堂々としていて立派にみえます。写真の“タケオ”は昭和46年5月に当園で生まれたオスで、当園の七代目のボスの座を占めています。 (撮影：宮下 実)



“日本へ初お目見え、ヨロシクネ！”

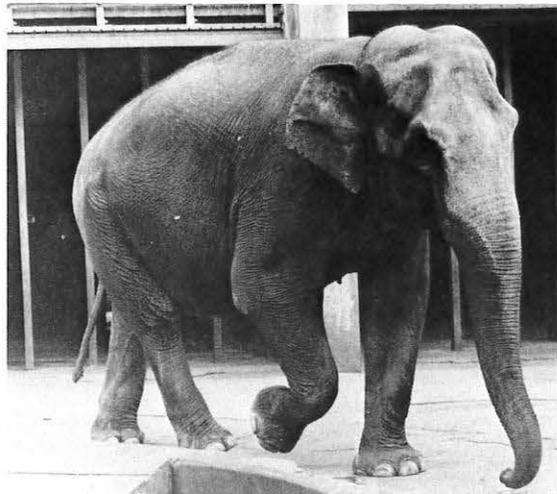
10月26日、オーストラリア・タスマニア州から親善動物としてタスマニアデビルが贈られてきました。この日本へ初めてお目見えしたタスマニアデビルはオス、メス各2頭で、デビルという名前からはとても想像できない愛らしい顔をしています。
〔一般公開：11月2日から〕 (撮影：農本武志)

動物園グラフ

“天王寺動物園の長寿動物”

当園の長寿動物もすべて戦後っ子となりました。
今回は各目の代表長寿動物を特集しました。

(撮影 中川 哲男)



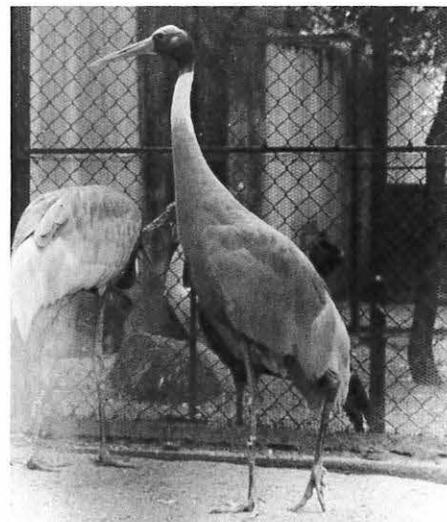
アジアゾウ(メス)「春子」S.25.4.15来園(34年6ヶ月)
全国2位



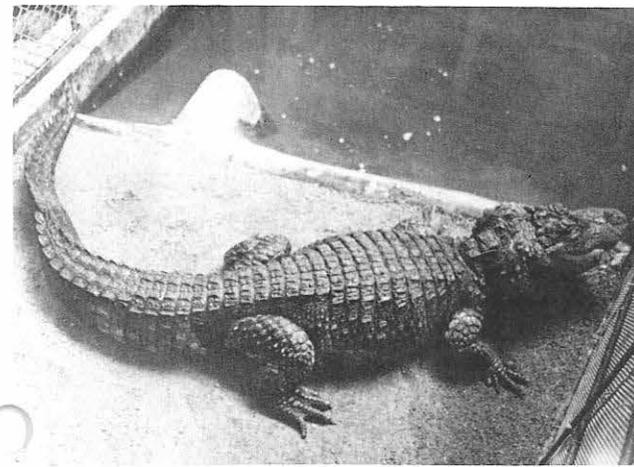
コンドル S.32.9.27来園(27年1ヶ月)
オス・メスとも健在 全国4位



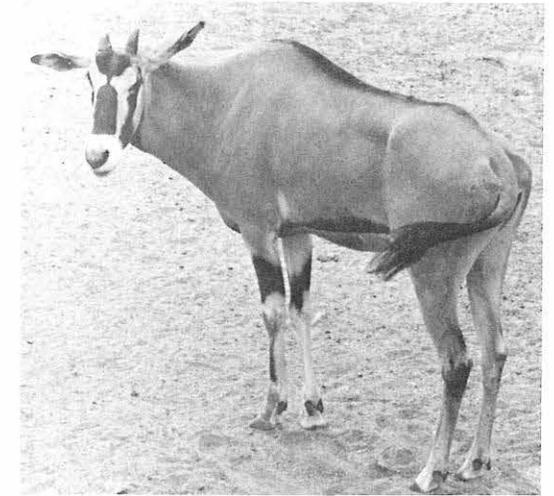
チンパンジー(メス)「シュージー」S.26.6.5.来園(33年4ヶ月)
全国2位



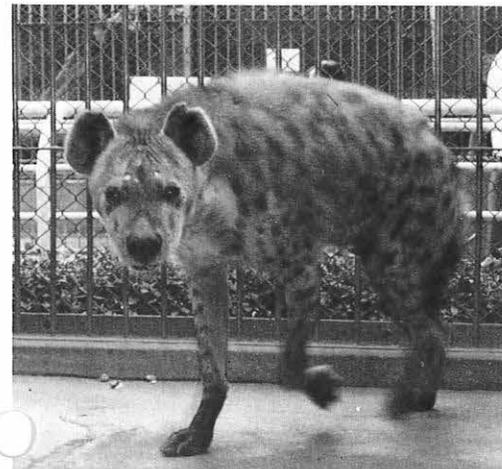
オオヅル(メス)S.34.5.28来園(25年5ヶ月)
全国1位



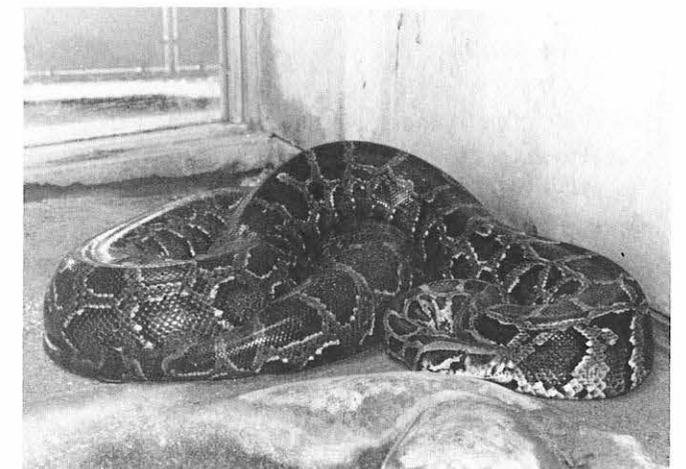
ヨウスコウワニ S.36.6.14来園(23年4ヶ月)
全国2位



ベイサオリックス(メス)「チャド」
S42.9.8当園生れ(17年1ヶ月) 全国1位



ブチハイエナ(オス)S41.8.31来園(18年2ヶ月)
全国1位



インドニシキヘビ(メス)S42.9.18来園(17年1ヶ月)
全国1位

9・10月動物園日記

- 9/10. ラマとシマウマの子が順調に育っています。
- 9/12. ワライカワセミ3羽のうち2羽が闘争するため、1羽を別室に隔離しました。クロサイの雌“サッチャン”が下痢のため治療をはじめました。
- 9/14. シンリンオオカミに交尾様動作が見られました。
- 9/15. 定例飼育研究会が行なわれました。オランウータンのブルとサツキを同居させたところ交尾しました。オグロワラビーとハイイロカンガルーを同

居させました。

- 9/17. ベンガルトラのカズちゃんが雌の子を1頭生みましたが、めんどろを見ないため人工哺育することになりました。
- 9/19. スワローバトが1羽巣立ちしました。左翼を骨折したアカショウビンを1羽保護しました。
- キーウイの夜間観察を行ないました。
- 9/20. 動物愛護週間にちなむ無料動物相談が始まりました。26日まで行なわれます。
- 9/21. ヒオドシジュケイが肺炎で死亡しました。オランウータンのブルとサツキは、きょうの交尾を最後にそれぞれ別室に分けました。

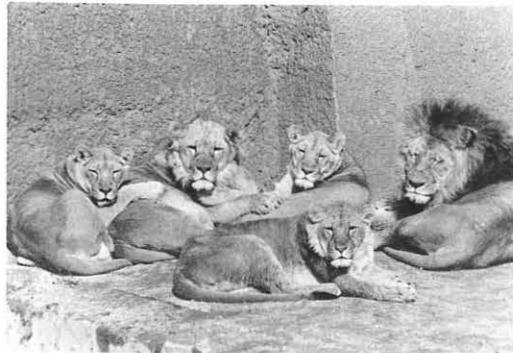
- 9/23. 動物総合感謝祭が開催され、当園からは動物代表としてトカラヤギとメンヨウが参列しました。
- 9/24. 人工哺育で育ったクロオオカミの“鈴鈴(リンリン)”の元気食欲が急になくなったのですぐ治療を始めました。
- 9/25. 保護で元気になったトビを放鳥しました。8月5日産卵され抱卵が継続されていたオウサマペンギンの卵は破れているのが確認され、無精卵であったことがわかりました。
- 9/27. クロオオカミの“鈴鈴”は治療のいかにもなく急性肝不全で死亡しました。
- 9/29. メボソムシクイを1羽保護しました。

- 9/30. クイナを1羽保護しました。
- 10/1. アジルテナガザルひとつがいの寄贈を受けました
- オランウータンの雌“オラン”が雄の“ブル”にひどくかまれたので、麻酔し治療しました。
- 10/2. 新しく入園したアジルテナガザルの展示を始めました。
- 10/3. マントヒビが1頭生まれました。
- 10/5. 2つの養護学校の触察がありました。
- 10/9. ヤブシチメンチョウ舎の塚から15コの卵が見つかり、人工ふ化させることにしました。

天王寺の歴史をさぐる ⑥

〈ライオンの歴史〉

動物園で人気動物のコンクールを行うと、常に上位に顔を出すのがライオンです。当園の過去の動物人気ベスト10をみても、ゾウ、キリンについて堂々3位の座を占めています。今回は子供たちに人気のあるライオンの歴史をたどってみました。



ライオン一家

§ 日本への初渡来

ヒョウが文禄4年(1595)、トラが寛平2年(890)と日本への初お目見えは早いのに比べ、ライオンは遠いアフリカが故郷だけに慶応2年(1866)が日本への初渡来でした。この年の正月、当時の江戸、芝白金の清正公廟前所で獅子(メス)1頭を見世物としたことが記されており、これが日本への初のお目見えとされています。

一方、日本の動物園でライオンが初めて飼育されたのは上野動物園で、明治35年(1902)のことです。これはドイツの世界的に有名な動物商カール・ハーゲンベックから2頭購入しています。

動物園で初めてライオンの繁殖に成功したのは京都市動物園で、やはりハーゲンベックより購入したライオンが明治43年2月2日に4頭出産しています。

§ 天王寺動物園へのお目見え

当園でライオンが飼育されたのはいつ頃からなのか？ 実はこれが正確な資料がなく今まで不明でした。というのも戦前の動物台帳が震災などで焼失してしまったからです。しかし末尾に記したような資料をもとに天王寺動物園でのライオンの歴史を調べることができました。

大正4年(1915)の当園の創立時にはライオンはすでに飼育されていました。その時のライオンは京都市動物園で3回目に生まれたライオンで、大正3

年3月28日に誕生しており、同年11月11日に大阪市に払下げられたことが記録されています。この時点では大阪市立動物園(天王寺動物園の以前の名称)はまだ開園していませんが、大正3年9月に大阪府から大阪市へ府立博物館附属動物檻(天王寺動物園の前身)の動物が移管されており、大正4年元旦の開園目ざして動物舎の突貫工事が行われていたものと思われる。この京都生まれのライオンはオス、メスのペアで、当時の価格で2,500円で購入しています。この当時の入園料が大人5銭ですから、現在からは想像もつかない高価な動物だったわけです。この後、大正8年6月にもやはり京都市動物園生まれのオス1頭が入園しています。購入価格は1,200円でした。

この3頭のライオンについては先に記したように正確な資料もなく、どのように飼育されていたかは不明です。ただ繁殖にはまだ成功していなかったようです。

昭和4年(1929)4月1日、上野動物園から3頭のライオンが入りました。これらは昭和2年6月25日に上野動物園で生まれたもので、オスは筑波、隅田、メスは利根と名付けられていました。ちなみにこの3頭の両親は京都市動物園生まれの五十鈴、常夏であり、当園の初期のライオンには京都市動物園のライオンの血脈が常に入っていたわけです。

昭和7年8月8日、この利根が当園で初めての出産をしました。生まれた子は1頭だけで、4日後に惜しくも死亡しています。翌年にも1頭出産したもののこれも死亡し、やっと繁殖に成功したのは利根の3産目、昭和8年8月の時です。この時は3頭生まれたものの、母親利根の母乳が少なく育ちが悪いため、人工哺育でやっと成育させたようです。初産以後、一部記録の脱落はあるかもしれませんが、この利根は7産11頭出産しています。

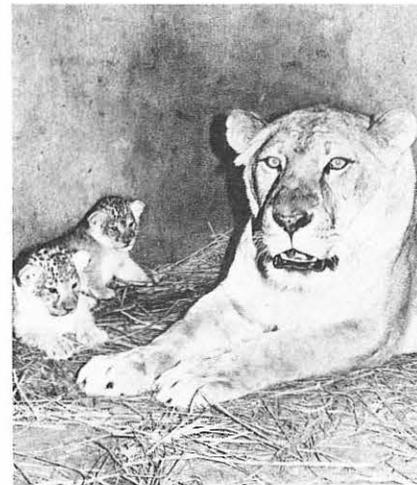
§ 戦争の犠牲

昭和18年、戦争の激化に伴い、動物園もその非常時の対策を迫られるようになりました。軍部からの猛獣処分の命令を受けて、どこの動物園もその対策に苦慮しましたが、人命優先ということで涙ながらに猛獣の処分が行われました。当園でも26頭の猛獣が処分されましたが、その内の5頭がライオンでした。昭和18年9月11日から29日までの間に薬殺されました。この猛獣の処分は日本のほとんどの動物園で実施されましたので、昭和18年の秋以降6年ほど

は、おそらく日本にはライオンは存在しなかったのではないかと思います。

§ 戦後の大繁栄

昭和24年6月30日に上野動物園へ戦後初のライオンが入りました。当園へのお目見えはかなり遅れて昭和26年10月19日のことで、タケシと名付けられたオス1頭だけでした。翌々年に名古屋動物園で生まれたメス(ジュリー)が入りました。このペアの間には10産20頭の子がもうけられました。



ユキとその子

このジュリーの最後に産んだ子がユキとタケシで、戦後の2代目をこのペアが継承します。ユキは2才11ヶ月で初めて出産し、昭和

53年8月の最後の出産まで実に16産36頭もの子を産みました。この繁殖頭数は当園の最高です。またユキは当園で一番長生きしたライオンで、昭和37年10月に生まれて昭和57年3月に死亡するまで、19年5ヶ月25日間飼育されました。このユキを始め、娘のユリ、ナツⅢなどがよく出産し、戦後の繁殖は7頭のメスが63産して127頭の子を生みました。この127頭の内、成育したのは82頭(人工哺育18頭を含む)で、ほとんどが他の動物園に引きとられました。

●記録あれこれ

- ・長寿 ①ユキ ♀19年5ヶ月(S.37.10月生～S.57.3月死)
②マリ ♀17年9ヶ月(S.28.1月生～S.45.10月出)
③タケシ ♂16年3ヶ月(S.26.10月入～S.43.1月死)
- ・出産 ①ユキ 16産36頭(内、成育数29頭)
②サクラ 21産33頭(〃 14頭)
③ユリ 9産22頭(〃 11頭)
④ジュリー 10産20頭(〃 20頭)
⑤ナツⅢ 4産12頭(〃 5頭)
- ・妊娠日数 93～110日 平均 105日
- ・一腹最多産仔 4頭(ユキ2回、ユリ2回、ナツⅢ1回)
- ・食量(1日量) 現在馬肉2.5kg、鶏肉2.5kg
昭和10年 牛肉1.5kg、牛乳600cc

このライオンの繁殖過剰ともいえる状態が昭和53年頃より日本各地の動物園で問題となり、繁殖してもらい手がないということで大変困りました。そのためライオンの避妊が真剣に考えられ、当園でも昭和56年5月、3頭のメスの体内にホルモンカプセルを埋めこむ避妊手術を行いました。繁殖制限とはいえ、ここ数年、ライオンの赤ちゃんの姿が見られないのは残念な話です。

§ エチオピア政府から贈られたライオン



来園時のアビシニアライオン

昭和45年、大阪での万国博覧会を記念してエチオピア政府からアビシニアライオン(フジオ、サクラ)が贈られました。

ライオンには10をこえる亜種がありますが、動物園のライオンはあちこちで交雑されて亜種として保存されているものは大変少ないのが現状です。その純潔種を保つ意味でこの贈られたアビシニアライオンは従来からいるライオンとは全く血縁をまじえずに飼育してきました。サクラは過去21産33頭の子を産んでいますが、ここ数年、サクラもよる年波か育児がうまくできません。またフジオは昭和51年に死亡し、今は昭和50年に生まれたフジオⅡの代になっています。

ライオン1頭の価格	大正4年1,250円	入園料5銭(2万5千倍)
	昭和26年40万円	〃 10円(4万倍)
	昭和55年8万円	〃 300円(266倍)

●参考文献

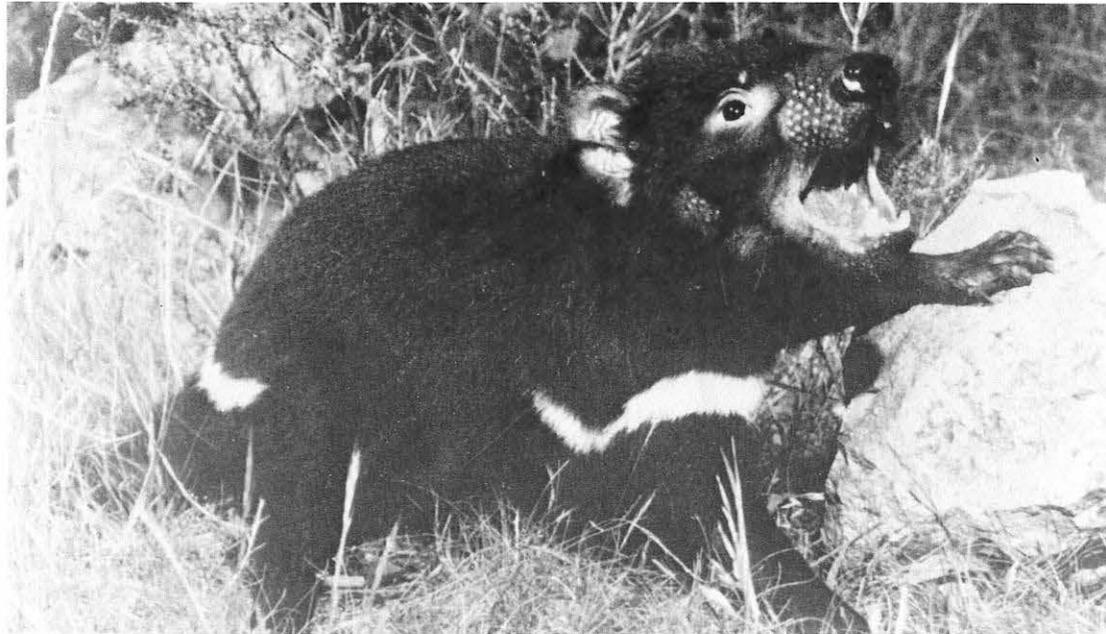
- 動物二千六百年史 (昭和16年大阪市立動物園発行)
 - 動物渡来物語 (高島春雄 著)
 - 大阪の動物園 (上田長太郎 著)
 - 上野動物園百年史 (昭和57年 東京都発行)
 - 京都市動物園80年のあゆみ (昭和59年 京都市動物園発行)
 - ライオン渡来考 (小森厚著 どうぶつと動物園1964年7月号)
- (飼育課：宮下 実)

かわいい小悪魔“タスマニアデビル”とは

今月末、歴史上の来日は今回が初めてというタスマニアデビル4頭が、オーストラリア・タスマニア州より当園にプレゼントされました。

名前の“デビル=悪魔”から受ける印象はあまり感じのよいものではありませんが、実物を見ればそのイメージも大きく崩れ去るにちがありません。

今回はそのタスマニアデビルに焦点をしばって、その全貌を明らかにしたいと思います。



初来日のタスマニアデビル

§ コアラと同じ有袋類

タスマニアデビルは、コアラと同じ育児のうという袋をもっている有袋類の仲間に入ります。厳密にいいますと、有袋目フクロネコ科に入ります。食性はコアラと違って肉食性ですが、生肉・死肉にかかわらず何でも食べ、小型のワラビーやネズミカンガルー、小型哺乳類、鳥、ハ虫類などを主に食べ、ときにはカエルなどの両生類、昆虫類、ザリガニまでも食べます。

育児のうの開いている向きはカンガルーとは反対で後向きになっています。これはコアラと同じで、乳頭も4つ有しています。

§ 限られた生息地

デビルは、現在はオーストラリア南東にあるタスマニア島にのみしか分布していませんが、オーストラリア原住民の貝塚に骨がよく発見されることから、かつてはオーストラリア大陸にも生息していたのであろうと考えられています。オーストラリア大陸のタスマニアデビルがなぜ絶滅してしまったのか非常に不明確ですが、オーストラリア大陸にいる野生イヌ“ディエンゴ”の仕わざではないかという説があります。それによりますと、ディエンゴはタスマニア島には侵入できなかったため、デビルはここに安住の地を見い出すことができたというものです。し

かしこの説にもかなりの矛盾があるようです。

デビルは、タスマニア島の中でも他の動物があまり近づけないような川岸・海岸・谷間などの岩石地あるいは森林に生息しているものの1941年6月保護法が制定されるまでは絶滅の危機にありました。現在ではしだいにその数は増加しつつあるようです。

§ なぜ、デビル=悪魔と呼ばれるのか

命名者である動物学者ハリス氏が発見した当時(1808年)はたくさんいて、町の週辺ではふつうにみられ、家畜やニワトリをよく襲ったといわれています。一度かみついたらその動物を殺すまで放さないとも言われます。またハリス氏自身も雄と雌2頭を飼育していて次のように報告している。「人に慣れず、けんか好きで、2頭を同じところにつないでおくと、日中は眠っているが、暗くなると夜通しうなり声を発して闘争した」。このようなことから世間一般は当然のこと、命名者自身もこの動物に対して強いにくしみと偏見をもつのは当然かも知れません。

先程述べたようなどうもうな性質に加え、背中あたりから発するぞつとするような鳴き声、獲物の骨や皮までもかみくだく強いあご、その黒い色などから、あまりにもほかの有袋類とはかけ離れていました。これが、デビルつまり悪魔と呼ばれるゆえんとなったのです。そしてデビルに対する迫害がはじまったのです。と

ころが、現在では、今までデビルに対して考えられてきたことには、かなり誤解のあることが分かってきました。デビルは動きがやや鈍いため獲物を殺すのは苦手で、小さな動物や弱っている動物、ワナにかかったものしか殺さないのです。また、大変よい掃除屋で、羊や牛の死骸が置かれている所によく集まり、それらを大口でのみこみ処理してくれるのです。

動物学者ハリス氏も飼育法が間違っていました。雌雄2頭を同じところにつないでいると、けんかをおこすのはしごく当然なのです。デビルは交尾期以外は単独で活動し、行動中に別個体に出くわすと闘争するのです。

§ 名前にそぐわないデビルの姿

体つきはずんぐりしていて頭でっかち。大ききでいうとアライグマ程度です。これでも肉食有袋類中フクロオオカミに次ぐ2番目の大ききなのです。顔を見ているとまるで小形のクマのようですが、尾はクマよりも長めです。フクログマという異名はそういうところから来ているのでしょうか。飼育してみるとかなりなつくようで、とくに子供のデビルにその傾向が強く、野生で捕えた成獣でさえも、十分ならすことができるといえます。タスマニアの農夫は、犬のように首に綱をつけて市内まで引いて歩いていったそうです。

§ デビルの得意わざ

動物園では脱走の名人として有名で、ウィーン動物園にはるばる到着したデビルは、その晩のうちにいなくなっていました。これは、鉛筆程もある太さの鉄棒をかみ曲げ、大きな骨さえかみ砕くという極めて強力な顎の力をデビルがもっていることに因を発しているのです。その顎の力は、この大きき動物では最強と言われます。

また土を掘るのもうまく、木や壁なども巧みに登ることができずから、飼育舎はこれらの点を十分考慮し設計されたものでなければなりません。当園でもこの点が検討され、マレーバク舎の北側に、約200㎡の広い運動場をもつ飼育舎が建てられました。

§ かわった習性あれこれ

とくに繁殖習性がおもしろく、普通、雌雄は交尾のため3月にいっしょになります。2週間ぐらいは交尾せず、その間雌は巣穴から出ません。このように交尾前は雄が優勢なのですが、交尾後は形勢が逆転し、雄よりも体の小さい雌の方が強くなり、雄が近づくと必ずうなったりかみついたりして追いはらうようになります。妊娠期間は約30日で、母親は出産が近づくと草などで巣をつくります。出産は4月か5月頃で、生まれてくる子供は1~5頭(平均3頭)です。出産直後1~2cmの大ききというデビルの子は生まれて15週間は育児のうの中で育ち、その後しだいに外に出るようになり、数週間は母親デビルの背中にしがみついています。5~6ヵ月で離乳し、10ヵ月の末までには一人立ちします。そして2

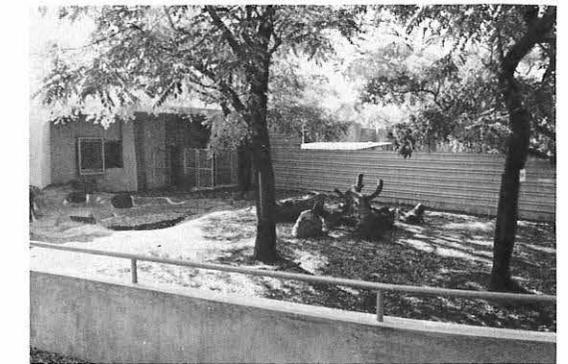
才になってやっと性成熟し、7才位が寿命といわれます。

デビルは夜行性で、昼間はほら穴や岩かげ、茂みの中に隠れており、夜には歩み一夜で10km以上も遠出することがあります。野生動物が生息するところにはよくけもの道というのがありますが、デビルもこれと同様、決まった通り道をもっています。動きはコアラのようにゆっくりぎこちない歩き方をしますが、時には素速い走りもみせ、その姿は見ていて実におもしろいか。

デビルがよくやる大あくびは、敵を威嚇するために行う猿の仕草とは違い、実は恐れや不安からきていると言われます。

普段、体臭はほとんどなく清潔なデビルですが、ちょっと緊張したりすると不快な臭いを発生させます。

鳴き声はかなりどう猛で、しわがれたセキのような声から、うなり声あるいはかん高い声まで様々な



当園のタスマニアデビル舎

声が発します。短くしゃみのような鳴き声は、デビル同士で闘争する時に使われます。

§ 動物園でもめったにお目にかかれないデビル

国際動物園年鑑(ロンドン動物園協会発行)を参考にして1964年以降の世界の動物園での飼育数と繁殖数を調べ表にまとめてみました。別の文献によれば、ロンドン動物園では、1833年にはもうすでに飼育されていたと記載されていますから、動物園動物としては割に古いといえます。1960年以前の資料はないのですが、ここ20年程の飼育展示している動物園の数や国の数は、ほぼ横ばいといったところで、1981年現在では6ヶ国、14園が飼育展示しているのみです。

当園は今回4頭(雄2頭、雌2頭)の寄贈を受けましたが、4頭以上飼育しているという園は少なく、1962年からみえますと、オーストラリアのシドニーとアデレード、イギリスのロンドン、アメリカのサンディエゴとシカゴ・ブルックフィールド、西ドイツのノイビーとドゥウイスブルグ、カナダのトロントだけです。こういった園は表を見ただけです。こういって分かりますように、かなり順調に繁殖しているのがおわかりいただけると思います。日本の気候はタスマニアに比べやや厳しいようですが、ともに温

性気候に属し、特に1978年から3年連続繁殖に成功しているオーストラリアのシドニーにあるタスマニア動物園は大阪の気候と割合よく似ているようすから、当園でも繁殖に大きな期待がもてそうです。(飼育課：森本 委 利)

世界の動物園におけるタスマニアデビル(飼育数と繁殖数)

飼育国数	飼育動物園数	飼育数				繁殖動物園		繁殖数			繁殖個体の成熟までの死亡数	繁殖個体生存合計
		♂	♀	不明	計	国名	動物園名	♂	♀	不明		
1964	4	10	11	11	22	U S A	リンカーンパーク	2			2	0
1965	3	12	10	13	6	なし						
1966	3	11	9	11	20							
1967	3	11	10	14	3	オーストラリア	ウエストバリー	4	2			6
1968	2	11	8	12	20	〃	〃	1				1
1969	3	13	9	12	21	なし						
1970	3	15	11	13	24							
1971	3	16	11	14	1	26	オーストラリア U S A 西ドイツ	ウエストバリー サンディエゴ ノイビード	2 2 1 1 3 1		2 1	4 2 1
1972	3	12	12	14	26	なし						
1973	4	11	10	15	25	〃						
1974	3	12	14	19	33	西ドイツ オーストラリア	ノイビード ウエストバリー		4			4 3
1975	3	11	9	15	4	28	西ドイツ オーストラリア	ノイビード ウエストバリー	1 2 2 1		1	3 2
1976	3	11	13	19	32	U S A 西ドイツ オーストラリア	シカゴブルックフィールド ノイビード ウエストバリー		4		4	0 4 3
1977	3	11	13	16	29	オーストラリア 〃 西ドイツ	アデレード ウエストバリー ドウウイスブルグ	1 1 2 1 1				1 3 2
1978	4	12	16	19	1	36	オーストラリア 〃 西ドイツ	シドニー ウエストバリー ドウウイスブルグ	3 1 1 1 1 1		1	4 2 1
1979	5	12	15	19	34	U S A 西ドイツ オーストラリア 〃	シカゴブルックフィールド ドウウイスブルグ シドニー ウエストバリー	1 1 1 2 2		1		0 1 1 4
1980	5	13	16	19	35	オーストラリア	シドニー			1		1 0
1981	6	14	17	17	34	参考文献なし	(合計)	28 26 11			4 2 7	52

(注) 1968年以降オーストラリア・タスマニアのウエストバリー動物園が園数の中に含まれているが飼育数は不明のため加算せず
1981年USAシカゴ動物園は園数のみ加算し、飼育数はデータがないため加算せず
参考文献：国際動物園年鑑

動物園ニュース

§ トラの人工哺育

9月17日、トラの赤ちゃん(オス)が1頭生まれました。1973年生まれの母親にとって今回が16産目です。この母トラは最近、高齢のためか産児数も少なく、子供のめんどうもみようとしません。そこで今回も人工哺育することになりました。

いつも複数で人工哺育するのですが、今回は1頭のせいか、運動不足になりがちで消化不良になるため、生後13日目ぐらいから下痢が続き心配されましたが、その後下痢も治り、ようやく順調に成育するようになりました。

§ マントヒヒ誕生

10月3日、マントヒヒの赤ちゃん(オス)が生まれました。母親はこれまでも何回か出産していますが、雄が子供を取りあげて殺したりしたためうまく育っていません。何回かメスを隔離して出産させましたが、これも成功しませんでした。

今回は、オスと同居中に出産しましたが、うまくオスから逃げながら子供を育てていました。これならうまく育つのではないかと思っていたのですが、

生後9日目の10月12日になってオスが子供を取りあげてしまったため、オスを麻酔し子供を助け出しました。幸い傷もあまり深くなく、人工哺育することになりました。まだ人工哺育は始まったばかりですが、傷も急速に回復し現在のところうまくいっています。これから冬に向かいますが、うまく育ってほしいものです。

§ アジルテナガザルの寄贈
10月1日、アジルテナガザル、オス、メス2頭の寄贈がありました。これらの2頭は、三重県津市の観音公園の小動物コーナーで飼育されていたものです。当園、到着後、南園のサルアパートで展示しています。2頭ともまだ3~4才の若い個体で、人に

§ アジルテナガザルの寄贈

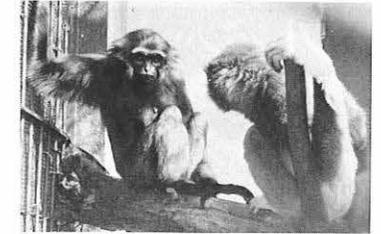
10月1日、アジルテナガザル、オス、メス2頭の寄贈がありました。これらの2頭は、三重県津市の観音公園の小動物コーナーで飼育されていたものです。当園、到着後、南園のサルアパートで展示しています。2頭ともまだ3~4才の若い個体で、人に

現在の飼育動物数

(1984年9月30日現在)

哺乳類	11目	101種	409点
鳥類	19目	189種	622点
ハ虫類	3目	34種	107点
計	33目	324種	1,138点

非常によく慣れており、これからの繁殖が楽しみです。



§ 暖房用ボイラーの火入れ式

10月1日、恒例のボイラーの火入れ式が行なわれました。今年は動物を代表して、昨年来園したハリモグラの「トマ」が火入れ式に参加しました。例年になく暖かい日が続く10月の初旬でしたが、この日からさっそく寒さに最も弱いハ虫類



の暖房が開始されました。来年5月中旬までのボイラーの運転に、重油約180,000ℓが使用される予定です。

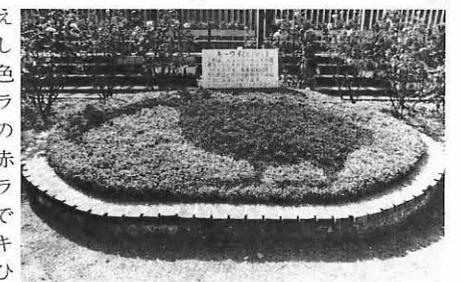
§ 残念だったオウサマペンギンの抱卵

9月号でオウサマペンギン2羽抱卵中のニュースをお知らせしましたが、残念ながら2卵ともふ化に至りませんでした。1卵は無精卵、もう1卵は初期の発生中止卵でした。

§ 園内植物だより

10月初め、カモシカ園の南にある花壇にアキランサスで、当園の代表的な動物である「キウイ」の模様を植えました。

黄色のアキランサスの地に、赤のアキランサスで描いたキウイがひときわ目立っています。動物園へお越しの際は動物だけでなく、美しい花壇もお楽しみ下さい。



* 休園日のお知らせ *

動物園の休園日は毎月第3月曜日です。来年1月までの休園日は下記のとおりです。
11月19日(月)、12月17日(月)、1月21日(月)。
年末年始は、12月29日~1月1日まで休園いたします。
開園時間は、午前9時30分から午後5時までで、午後4時に切符売止めになります。

すてき満喫 近鉄クレジットカード



- 全国の近鉄百貨店グループ・都ホテチェーンなどでワイドにお使いいただけます。
- カードをご提示いただくだけで30万円までのお買物をお楽しみいただけます。
- 繰り延べ払い(リボルビング方式)・一回払い・ボーナス一括払いの3つのお支払い方法がございます。
- 入会資格は20歳以上で2年以上お勤め、または自営の方です。

近鉄百貨店

お申込み・お問合せは各店クレジットセンター
アベノ店・上本町店・東大阪店・奈良店・西京都店・東京店

近鉄百貨店グループ

四日市近鉄・京都近鉄・岐阜近鉄・枚方近鉄・和歌山近鉄・近鉄松下(徳山)・別府近鉄・三交百貨店(松阪・伊勢)・近鉄東海ストア

ひかりのくに

監修・阪口浩平
指導・宮武頼夫

オールカラー

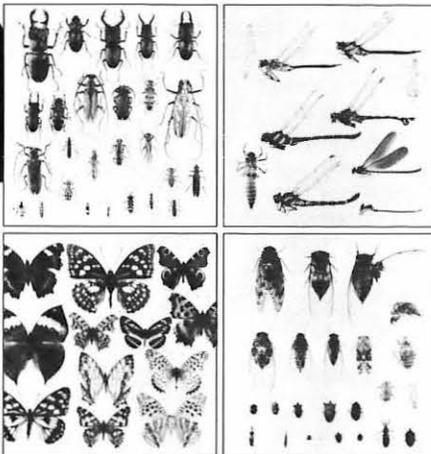
むし くらしとかいかた

今まで、気にもとめなかつた自然の中で昆虫たちが生きている。みんなも、虫になって自然の中を歩いてみよう。きっとすばらしいことに出会えるはずだ。

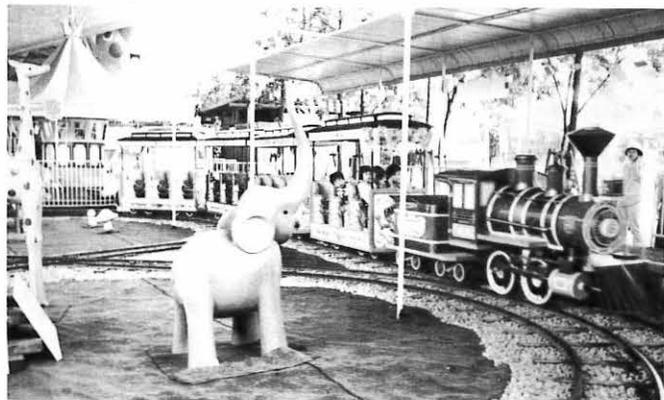


580円

ひかりのくに株式会社
〒533大阪市天王寺区上本町3-2



たのしいのりもの、が待っています。



- 1人1回
100円
(1才まで無料)
- 団体割引
(30人以上)
……1割引

久竹娛樂株式会社
TEL (06) 541-3112

◎園内3ヵ所(南園入口横、北園ステージ横、北園高架下)に各種のりもの、があります。

天王寺動物園の機関紙

月刊 **なきごえ**

ご購入をお奨めします。
年間購読料 1,100円 (含、郵送料)

お申し込みは、**大阪市天王寺動物園協会**へ
TEL 06-771-0201

世界初の最高感度

(カラープリント用フィルム)

1600 新登場!

かろうの大林

桜橋本店 ☎341-8091
三番街店 ☎372-5031



フジカラー HR 1600

ISO1600/33° 135-24枚撮

天王寺動物園

ZOO GUIDE の

ご購入をおすすめします
(1冊 ¥450)
園内各売店にあります

あらゆる動物に愛の手を!

社団法人 大阪動物愛護会

全国の愛犬家の共感を呼ぶ
無比の愛犬歌集 (絶賛再版)

歌集 犬の歌

動物文学会主宰
平岩米吉著 (直接申込乞う)

著者が、約40年の間に、共に暮した70余頭の犬の生と死を歌った419首を収録。同時に、その誕生より老齢に至る写真47図を収め、犬の一生の生態写真集でもある。

動物文学会 〒152/東京都目黒区自由が丘3-12-2
電話(03)717-1659・振替東京5-9800

日本図書館協会選定
全国学校図書館選定

狼

その生態と歴史
犬科生態研究所長
平岩米吉著

A 5判・320頁・
口絵挿絵等140図
定価2800円・〒300円

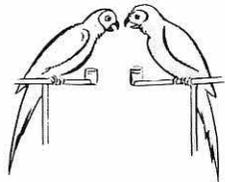
待望の日本狼の正史ついに完成!
〔改訂四版〕

☆犬科動物の研究者として、当代随一の著者が、数十年にわたり収集した正確な資料を、生態学の目をもって描いた空前の書。
☆日本狼は、大口の真神とあがめられた古代より、のちには病狼と恐れられ、やがて絶滅に至るまでの経緯を詳述。

主な目次

- | | |
|------------|----------|
| 序狼への幻想と現実 | 5 狼の伝説 |
| 1 犬科の分類と解説 | 6 日本狼の特徴 |
| 2 犬と狼の関係 | 7 日本狼の絶滅 |
| 3 日本狼の歴史 | 終狼を飼った人々 |
| 4 狼狩の記録 | |

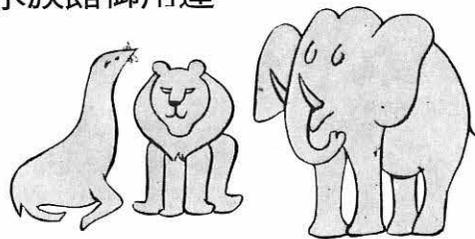
発売 (株)池田書店 東京都新宿区弁天町43番地
振替・東京4-165425



鳥獣輸入

全国動物園水族館御用達

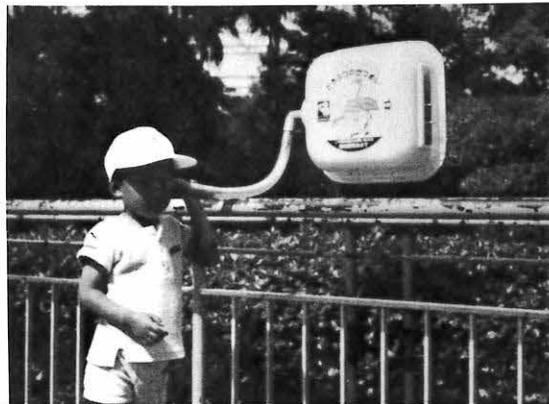
- ・医学実験用動物
- ・愛玩犬、猫直輸入
- ・宣伝用、テレビ用、貸動物
- ・教材用鳥獣剥製販売
- ・原色世界雑類図鑑(34種1枚もの)要郵便券150円・鳥獣価格表100円



有限会社 吉川商会

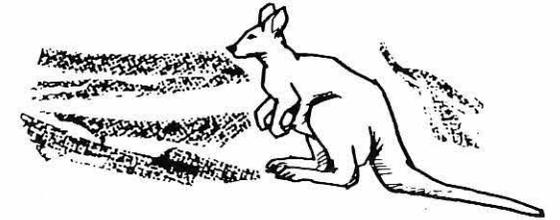
本社 神戸市生田区中山手通三丁目二八番地 電話(078)221-8195・221-1517
飼育場 神戸市葺合区神仙寺通三丁目一番地 電話(078)241-3494

たのしい動物のお話は、
ガイドマシン(動物説明機)で、どうぞ!!



園内、主要動物舎
30数カ所にあります

関西特機株式会社
電話 06-762-2333
1回 20円

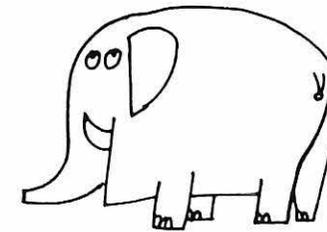


……………ぼっちゃん
……おじょうちゃん
どうぶつえんへ……………
いらっしゃいませ……………
ごきゅうけいは……………
おしょくじは……………

動物園内北園 中央売店

☎ (06) 771-0973

天王寺動物園内

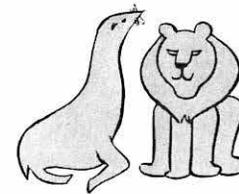


南園売店

代表者 松谷良子

大阪市天王寺区茶臼山町6-74
電話 (06) 771-7110番

園内でのお写真は…
動物園協会指定写真部へご用命下さい!!



◎随時係員が待機しておりますのでご説明に伺いました際は、よろしくお願い致します。

カラー写真 キャビネ1枚 500円

撮影無料にてキャビネ1枚をサービスさせていただきます。
撮影予約も受付しておりますのでご連絡下さい。

国際航空写真株式会社
TEL 06-856-7444

新鮮です、さわやかです。フルーツが入った、おしゃれなヨーグルト。



果肉とソフトヨーグルト
の名コンビ

自然の
おいしさ



雪印ヨーグル

●ブルーベリー・キウイフルーツ・ストロベリー・オレンジ・カクテル

なきごえ 昭和59年11月10日発行(毎月1回10日発行)

第20巻 第11号(通巻231号)

編集 / 大阪市天王寺動物園

〒543 大阪市天王寺区茶白山町6-74

発行人 / 大阪市天王寺動物園協会 中川道朗

電話 大阪 (06) 771-0201

印刷所 / 株式会社 松村善進堂 定価100円(送料共)

振替口座 大阪 37823

1年継続(12部) 1,100円(送料共)

編集委員

土井 良彦	伊東 重朗	小出 雅三	樽本 勲	中川 哲男	前田 豊彦
宮下 実	長瀬健二郎	榎原 安昭	森本 委利	大野 尊信	葭谷 文彦
農本 武志	野口 秀高	仲谷 登	柴田 総	兼坂 雅浩	堀 弘
大川 光雄					